

SAK だより

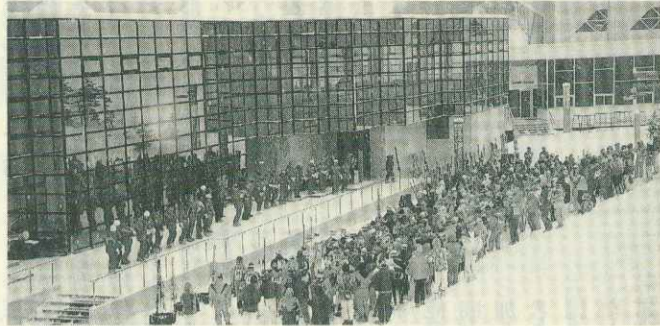
“おお汗こ汗”

平成10年
かながわ
ゆめ国体



神奈川県スキー連盟
横浜市神奈川区台町16-1
ソレイユ台町 407号室
電話 045 (311) 8907
FAX 045 (324) 6966
発行者:柴田伸彦
編集責任:小松良昭

☆新雪の北海道へ一番乗り☆



北の都・札幌をベースにパウダースノーのグレンデで神奈川のトップスキーヤーと共に、楽しく、安全に滑り、スキー愛好者の友情の輪を白銀の世界に広げましょう。講習会は、初めてスキーをなさる方から上級者まで、親切丁寧に指導いたします。

実施期日: Aコース 平成7年12月13日(水)~17日(日)4泊5日
Bコース 平成7年12月14日(木)~17日(日)3泊4日
Cコース 平成7年12月14日(木)~17日(日)3泊4日
宿舎: 京王プラザホテル札幌
札幌市中央区北5条西7丁目 TEL. 011-271-0111

申込締切: 11月21日まで
企画: 神奈川県スキー連盟
旅行取扱い: 株式会社シティフェイス
TEL. 03-3252-9021
FAX. 03-3252-9026

成長を続ける組織

評議会だより

かつてのスキースポーツは、山の世界に付随するものだったと思う。だから、スキーをするとは特別なことだったのである。それから時が経ち、スキーを取り巻く環境は大きく変化してきた。

私どものスキー組織も成長を続け、まもなく一万人の登録になると思っている。さらに行事も以前に比べると徐々に拡大化してきています。

理事長 柴田 信彦

来年の三月に向けて全力でがんばっていきたく考えます。10月21日の臨時評議員会で、評議員各位のご意見や励ましを頂きながら、今後は財団法人として必要な基本財産づくりを邁進したいと考えます。あたたかいご支援とご協力をお願いいたします。

'97県総体の会場移転

評議員会の中で常に話題になっていた県総体の会場について、足かけ十年にもわたり野辺山スキー場のお世話になってきましたが、平成九年度の県総体からマントパーク津南スキー場に会場を移すことになりました。

この数年はクロスカントリー競技の実施が暖冬のため平地で行うことがなわなくなりました。しかし、競技の実施時間が刻々と早朝の競技となり、選手の「精神的肉体的に負担が大きい」との意見を聞き及んでいましたので、ここ数年慎重に検討してまいりました。

また今シーズンは、指導員・準指導員の検定種目変更になります。受験される方々は大変だと思いますが、頑張ってください。

また今シーズンは、指導員・準指導員の検定種目変更になります。受験される方々は大変だと思いますが、頑張ってください。

また今シーズンは、指導員・準指導員の検定種目変更になります。受験される方々は大変だと思いますが、頑張ってください。



SAJ
情報



'95シーズンに野沢温泉で開催されたインタースキーは、大成功に終了し、日本のスキーメソッドが世界の人々に公開され、その水準の高さが注目を集めておりました。

神奈川県からも大勢の方が視察に来られました。数年の間は今回発表されたスキーメソッドが中心となり、世界の技術を支えていくものと思われ

日本ナショナルチームに応援を!

全日本スキー連盟理事 佐々木 峻

日本を含めて世界の景気は回復しておりません。そのため選手強化の資金も充分ではありませんが、現在の日本チームにはゴールドメダリストを擁しております。リレハンメルのようにいくかは、これからの選手強化にかかっております。皆さんもどうか応援

してください。

また、長野オリンピックでは、今若者に絶大な人気をほこるスノーボードが種目として加わりそうな気があり、この「SAKだより」が発刊される頃には公式に発表になっていると思います。

カナダスキーツアーに参加して

三菱化工機スキー部顧問 堂垣内 伸好



私の人生計画は65才まで仕事に専念すること。それ以降は今まで出来なかった事の実現、その中に家内との山旅がある。

昨年、66才にして初めてSAK海外スキーツアー94に参加してアルプスの素晴らしき思い出を残すことが出来た。CHAMONIX最終日に来年度のSAK海外スキーツアーに参加することを決めた。そして行先の発表を楽しみに待って居たところSAKだよりで3月下旬にウィスラーツアー実施を知り安心する。

山スキーに不慣れな家内にツアー参加前に練習させる名目で、本心は、昔冬期における北海道の山スキーの醍醐味が忘れ難く、それを再びと期待し1月下旬からニセコアンブリと富良野北の峰へ行きウィスラーに備えた。

結果は二人ともあまり進歩がないままSAK一行に加わることになった。

雨上がりのバンクーバー着、社用で同市を訪れた時の印象は黒いモミの樹林帯に囲まれた静かな都市という感じだったが、この街も都市化の影響で予想外に変貌していた。しかし車窓から数多くの桜の開花を眺めることができ、旅の疲れを癒やしてくれた。

時刻にしては未だ早い夕暮れを思わせる薄暗いウィスラー

の街へ入った時は雨だった。明けて初日は晴天になったのでスキー場の全容を知るため午前中はウィスラーを滑った。午後はブラッコム山へ移動することとした。

次の日はウィスラー山で終日滑ることにしたが寒気が厳しくコーヒープレークの回数が増し他の多くの家族連れは弁当持参でレストランで眠っていた。

ウィスラー山のあちらこちらで強烈な爆発音が轟いていたがこれは遭難防止のため人工雪崩を起こしているらしい。平日であるが春休みとのこと家族連れが多く、子供達は皆ヘルメットを着用しておりリフト乗り場も日本並みの混みようであった。

3月21日は朝から降雪に強風が伴う悪天候であったがこの日行われた全員参加の夕食会は本田副会長の挨拶から始まり、名司会者近藤先生により盛況を極め、笑いの絶えぬ愉快な晩餐会となった。

更に最終日である22日は待ちに待った晴天となり残された短い時間を写真撮影やら滑降やらと大変忙しい。ふと雪庇から下を覗くと寒気がするような急斜面を数人のスキーヤーが滑っていくがそのチャレンジ精神に驚く。外国のアルペン競技の強さが理解出来るような気がした。

午後4時を過ぎた人影のない斜面を楽しく滑降し、ウィスラーの思い出を脳裏に深く刻んで私達は今シーズンのスキーを終了した。

最後に、陰の力となって私達を支えて頂いたSAKの諸先生に対し厚く感謝すると共に来年の海外スキーツアーを楽しみに待っています。

インタースキー野沢温泉大会

日本の技術と世界の技術

代表団総監督 平川 仁彦

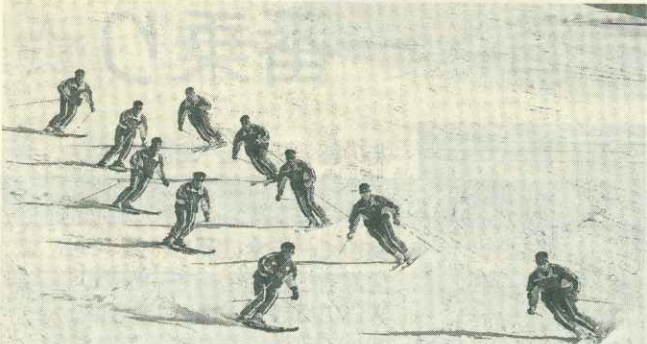
(はじめに)

前号ではインタースキーを総論的にみた私的な見解を発表させて戴きました。

今回は日本が発表した内容を中心にして、世界の技術の実態と比較してみたいと思います。公式のレポートと重複するところが出てきますが何卒ご了承ください。

日本の発表形態について

開催国の特例として、日本の代表団は開会式に続き約2時間の雪上発表を行ないました。今回のインタースキーではシステムの变化があり、論旨をもったデモンストレーションは各都道府県に行なわれました。従って、各国単位のナショナルデモンストレーションという形態をとったのは日本のみということになります。



日本の発表はインタースキー活動の基本的なテーマに沿って、スキースポーツの普及に関するひとつの提案、という

「ONE EARTH」つまり、かけがえない地球を絶対的な背景にして、素晴らしい価値を有するスキーをどのように

「デモンストレーションの構成は4つのパートからなり、SAJのデモチームが「技術論の展開」を、SIAのデモチームが「指導論の展開」を、そして、代表団としてSAJ、SIAが一体となり、対象別指導場面の演出、目標のスキー環境などを演出しました。このなかでは、SAJの学校体育スキー委員会や安全対策委員会による演技も含まれました。

発表の理念について 日本のスキー環境とスキースタイルは欧米に比べて、特殊とされています。それは、能力指向よりも遊び指向が拡大し、「誰もが参加し楽しめる」というスキーの平準化をどの国よりも推し進めてきたと言ったことになりま

「スポーツヒューマニティの創造」を掲げた、ということになります。平準化がもたらす問題はピステに雑多なスピードと動線が入り混じることです。限られたスペースに秩序を保つことが大切という考え方が発表の背景にあるわけです。



日本の技術について

SAJが担当した最初のパートは「皆が共有すべき技術は何か」を示す演出です。具体的には「パラレルターン」を設定しました。スピードのコントロール、回転弧のコントロールに自在さと対応幅の広いパラレルターンこそ「皆の技術」と言えるからです。

「基礎」と「応用」の滑りを扱ったことになりました。それぞれのパターンに対する「仕組み」の説明は我々の新教程の「技術の仕組み」をそのまま説明に引用しました。即ち、今回の我々の発表は新しい教程、教本のコンセプトをダイジェストした内容と言

「パラレルターン」は、まず「基礎パラレルターン」です。オーブンスタンスによる伸ばし切り替え、曲げ舵取りの運動で、ストックの活用はありません。もう一つのパターンは「エレガントなターン」です。ストレッチングターンがこれにあたります。適度なズレを伴い、推進力を状況毎にコントロールする「実用的な技術」という位置づけをしました。もう一つは「スピーディなターン」です。これはレーシングテクニックにも通ずる能力指向の滑りになります。整理すると「基礎」と「応用」の滑りを扱ったことになりました。

り、「個別性」を大切にしようという発想があります。また、基礎パターンについての「仕組み」ではあらゆるスキーヤーに共通する「運動課題」に目を向けています。いろいろなスタイルがあってもベースは同じとすることを主張する意図がありました。

世界の技術との比較

正直なところ、運動のあたりを比較することは今やナンセンスと言ったことになりま



「実用的な運動」を中軸に据えていることです。技術は手段、大切なのはスキーをする心、という気がしてなりません。

②途上国に見られる二つの指向

途上国とは、今スキーブームの現象を迎え、マーケットを拡大しつつある国という位置づけです。これらの国に共通することは、技術の取り扱



普及部 各都道府県

学生スキー技術選手権大会

スキー愛好者の年齢層を大人達のレジャースポーツと思



く、背景にある国別のスキーコンセプト、指向性を捉えることです。日本の発表では、「これが良い」という技術を限定する考え方を漸く無くしたことが進歩と言えるでしょう。スキーに於いては基礎になる運動課題の統一性が世界的にまとまりをみていることです。応用、発展については、状況、条件に応じた様々な形があるわけです。今回のインタースキーでは、日本はパラレルターンということに技術的なテーマをしぼっていることもご理解下さい。

そこで、従前から実施してきた基礎スキー技術選手権の中に、多くの学生スキー同好会・研究会の選手が参加できる場を設け、スキー技術の向上と普及並びに若い可能性を持った選手の育成ができればと考えて、この学生スキー技術選手権を次の通り新たに企画しました。

募集要項 期日 '96年2月2日(金) 4日(日) 会場 車山高原スキー場 参加資格 ①指導員及び進指導員 ②SAJ1級又は同等以上 ③スキー傷害保険に加入

①中斜面大回り(整地・規制) ②中斜面小回り(整地・自由) ③急斜面大回り(整地・自由) ④急斜面小回り (不整地・規制) ⑤ (不整地・自由) ⑥総合 (フリー) ※SAJ技術選から6~7種目 ※運営の都合による変更あり 表彰 総合・上位6位 種目別・上位3位 申込 '95年11月25日(土) 参加料 5,000円 多くの学生諸氏の、参加を期待しています。

各部だより

強化部

第一回スノーボード選手権大会に向けて
 強化部長 山田 カ
 ノルディック、スキーやアルペン、スキーにとどまらずフリースタイル、スキーやスノーボード等々、スキー世界の多様化には目を見張るものがあります。

第一回スノーボード選手権を開催
 特に長野オリンピックから実施されるであろうスノーボード競技が今日、注目されています。全日本スキー連盟は昨シーズン、スノーボードの第一回全日本選手権大会を開催致しました。この大会では本県在住の選手が活躍致しました。神奈川県はスノーボードの先進県であります。

本連盟は、明年一月二十六日(金)より二十八日(日)の三日間、回転、大回転種目の「第一回神奈川県スノーボード選手権大会」を長野県野辺山ス



前号では選手強化のメカニズムを紹介しました。53国体を含めて、ジュニア長期育成計画がスムーズに進められるかということは、すなわち選手強化のメカニズムがいかに機能するかということである。地域・クラブとの連携をこのメカニズムの根幹とな

キー場を会場として開催致します。現在、よりよい大会になるよう準備を進めております。多くの皆様の参加をお待ち致しております。

SAJ競技者管理登録を
 スノーボーダーの皆様の中には、SAJ公認大会への出場を目指している方も少なくないと思います。したがって、ここでSAJ公認大会出場のための登録についてお話をします。

SAJ公認大会出場のためには、SAJ会員登録とともに、SAJ競技者管理登録が必要となります。SAJ競技者管理登録は、競技ポイント獲得のための登録ですから、競技者管理登録が完了していない方はSAJ公認大会に参加することはできません。競技者管理登録は神奈川県スキー連盟を通じて行って下さい。

(平成八年度スノーボード競技者管理登録は追加登録として扱っています。SAK事務局

JR強化

るものは、「啓発 発展 育成」までが各地域・各クラブの指導者が積極的に取り組むべきものであり、そして「強化 指導者」までが連盟の役割として分担し、そこで育った指導者が各地域・各クラブで指導できる指導者となるようにフォローする。

第53回国体へ向けたジュニア強化

菊池富士夫

このメカニズムは、決して連盟が単独で実施するものではなく、各地域・各クラブとの綿密な連携がとれた形で流れていく必要がある。

私としては、53国体を最終目標としてとらえていく訳でなく、一つのキッカケとして

総務部

総務部長 佐伯 英雄

「IDの活用について」
 現在、各クラブのご協力を

いただき、有資格者の登録管理のO.A化(ID)を進めております。また今年度は「定例評議員会」の承認を得て、IDの活用も推進することになりました。

その活用例として、①普及部関係行事申し込み方法の簡略化

②有資格者の方への「SAKだより」の直送化

などについて、関係部を含めて検討を進めております。しかしながら、県連としては、初めての試みでもあり、事務処理が軌道に乗るまでは皆様にご迷惑をかけることも多いかと思われれますが、ご理解をいただき、ご協力を賜り

局までお問い合わせ下さい。なお、SAJ競技者管理登録が完了していても参加資格

各部だより

等が制限されている場合がありますので、要項等で必ず確認して下さい。

「JOCスポーツマンカードの入会お願いについて」
 既にご承知のことと存じますがSAKでは、住友VISA提携によるクレジットカードである「JOCスポーツマンカード」の入会をお願いしております。

このカードで、お買い物や食事などの支払いをしていただきますと、購入者は利用金額のみを、お支払いいただくこととなりますが、利用金額の0・5%をカード会社が、SAKに還元金として入金してきます。

現在、SAK会員の内のこのカードご利用者は、約150名で、昨年度は年間数十万円の還元金がありました。より多くの方のご利用により、県連としては将来に向け

マスターズ大会の魅力

スキーを愛した人達の集い(II) 熊谷敏夫
 全日本マスターズ大会とは

私が初めてこの大会に出場したのは、昭和61年2月のニセコスキー場で開催された第10回全日本ベテランスキー大会でした。

当時は、全国的に参加者が少なく国体との併設で開催されてきました。神奈川県から出場した私達は、当時の国体監督である佐々木さんのお世話になっての参加でした。当県からは、川崎の田中正徳さん、丸山禮子さんと私の三名が出場し、田中さんと丸山さんは上位に入賞しましたが私は19位という結果でした。

その後、大会の出場者が増えて、平成2年からは、国体とは切り離され、その名称も



雨により雪不足となって大会は中止されました。そこで、私達一行は近くのチェルビニアスキー場に移動し、フリーで楽しく滑りました。宿の窓から見える朝焼けに映えるマッターホルンの尖塔が見事で今でも心に残っています。



その後、北米のルーンマウンテンの大会に、そして一昨年の3月には、ウイスキーの大会に出場しました。この時は小川団長いかに23名(うち女性8名)で参加、私の成績は出場者の中程の順位でした。

出場者の中程の順位でした。外国での大会は、スケールが大きく、厳しい競技のなかにも、外国選手との交流もあり楽しいものでした。

この大会は、全日本スキー連盟に登録していれば誰でも出場できますので、皆さんで参加しましょう。

の貴重な財源となります。入会は随時受け付けておりますので、是非ご検討をお願いします。

給かわ版

横浜スキー協会

7月の評議員会を終え、8年度の事業の準備をしているところです。今年度も多くのイベントが計画されています。

まずは、毎回好評なスキーフェスティバル。スキーの映画や、プレゼンズ、トレーニング、航空券や宿泊券などが

当たる抽選会など、盛りだくさん。今年度は日本人初の大リーガー、マッシー村上さんをゲストに迎え、さらに充実した内容で開催されました。

続いて、10月末には第15回スキーセミナーが計画されています。昨年は平沢文雄氏を迎え、教習本についてのお話があり、たいへん有意義なセミナーでした。是非ご参加下さい

全日本マスターズ大会となりました。

当県とこの大会との関りが深いのは、田中さん、丸山さん、逗子の押川さんと私でしょうか。特に田中さんと丸山さんは、初めの頃から現在まで続けて出場し、大会の世話もしていて、成績もほとんど上位に入賞していました。

そして近年は神奈川県からの出場者も多くなり、県連専門委員の細井さんと伏屋さんが取りまとめられています。

ところで、この大会は世界にもつながっています。

国際マスターズカップ
 私が初めて世界大会に出場したのは、昭和62年4月に、イタリアのサングレサスキー

いし、一人でも多くの方のご入会をお願い致します。

1月からは雪上行事。第33回横浜市民総合体育大会が、1月26日より八海山麓スキー場を会場に行われます。2月23日からは準指導者講習が車山で、3月16日からは横浜市民マスターズ・会長杯スラローム大会、ポールトレーニングが野辺山の各会場で行われます。

また、今年度もジュニアの競技力向上事業を行っています。

シーズン終了後の5月には、協会行事の最後を飾るスキーサロンが横浜高島屋で開催されます。

今年も楽しいスキーシーズンでありますように！

座間スキー協会

県央に位置し、緑と屋根と

座間スキー協会
 協会行事の最後を飾るスキーサロンが横浜高島屋で開催されます。

今年も楽しいスキーシーズンでありますように！

坂が多く、西に相模川が流れる小さな街、そんな座間市にある小さな協会、座間市スキー協会をご紹介します。

会員数も五十数名ですが、活動はそれなりに活発に行っています。その小さいながらも味の濃い本年度の行事をご紹介しますので近隣どころか県下の皆さま、是非参加してみたいかがでしょうか。

① ザマ・スキーフェスティバル(スキー映画と抽選会)
 日時：日7年11月18日(土)18時30分開場
 会場：ハーモニーホール・ザマ(座間市立市民文化会館)

② 市民スキー大会
 日時：日8年1月21日(日)
 会場：しらかば2in1スキー場
 内容：県総体の予選会を兼ねて日曜日に開催します。

③ 市民スキー教室
 日時：日8年2月1日(日)夜4日(日)
 会場：安比・八幡平スキー場
 内容：今年は場所を変え八幡平をベースにスキーヤーあこがれの安比高原でのスキー教室にしました。

級別テストや準指導者特別講習、ポール練習など盛り沢山の内容を企画しています。アフタースキーも含め、心に残る楽しい思い出を残したいだけだと思います。

※以上、詳細は協会役員までお問い合わせ下さい。

お問い合せ下さい。

券など総額三百万円(昨

券など総額三百万円(昨

券など総額三百万円(昨

券など総額三百万円(昨

平成 8 年 度 行 事 一 覧 表

普 及 部

行 事 名	期 日	会 場	本 部	担 当
海 外 ス キ ー ツ ア ー	H8.1/12(金)~1/21(日)	シャモニー		山田
県民スキースクール(Aコース)	H7.12/13(水)~12/17(日)	北海道 (朝里川) (札幌国際)	京王プラザ	近藤
〃 (Bコース)	H7.12/14(木)~12/17(日)			
〃 (Cコース)	H7.12/14(木)~12/17(日)			
準指導員検定会(理論)	H8.3/1(金)	車山高原	車 スカイプラザ	宮下
〃 (実技)	H8.3/1(金)~3/3(日)	車山高原	車 スカイパーク	宮下
指導員養成講習会(理論2)	H7.10/21(土)	神奈川公会堂		根本
〃 (実技A)	H7.12/13(水)~12/17(日)	北海道	京王プラザ	近藤
〃 (実技B)	H8.1/26(金)~1/28(日)	五竜とおみ	ビオレット	近藤
〃 (実技C)	H8.2/16(金)~2/18(日)	車山高原	車 スカイパーク	根本
指導員研修会(理論1)	H7.11/11(土)	横浜 市 教 育 会 館		三塚
〃 (理論2)	H7.11/25(土)	横浜 市 教 育 会 館		三塚
指導員研修会(実技A)	H7.12/9(土)~12/10(日)	車山高原	車 スカイパーク	三塚
〃 (実技B)	H7.12/13(水)~12/17(日)	北海道	京王プラザ	近藤
〃 (実技C)	H8.1/6(土)~1/7(日)	野辺山	黒岩荘	三塚
〃 (実技D)	H8.1/26(金)~1/28(日)	五竜とおみ	ビオレット	三塚
〃 (実技E)	H8.3/29(金)~3/31(日)	車山高原	車 スカイパーク	三塚
B・C級検定員検定会(A)	H8.2/2(金)~2/4(日)	車山高原	車 スカイパーク	宮下
〃 (B)	H8.3/1(金)~3/3(日)	車山高原	車 スカイパーク	宮下
検定員クリニック(A)	H7.12/9(土)~12/10(日)	車山高原	車 スカイパーク	三塚
〃 (B)	H7.12/13(水)~12/17(日)	北海道	京王プラザ	近藤
〃 (C)	H8.1/6(土)~1/7(日)	野辺山	黒岩荘	三塚
〃 (D)	H8.1/26(金)~1/28(日)	五竜とおみ	ビオレット	三塚
〃 (E)	H8.3/29(金)~3/31(日)	車山高原	車 スカイパーク	三塚
神奈川県スキー技術選手権大会 (兼)全日本スキー技術選手権選考会 学生スキー技術選手権大会	H8.2/2(金)~2/4(日)	車山高原	車 スカイパーク	宮下
基礎スキー技術強化合宿(A)	H8.2/16(金)~2/18(日)	車山高原	車 スカイパーク	根本
〃 (B)	H8.3/3(日)~3/5(火)	北海道	未 定	根本

クラウン・テクニカルブライズ検定会	H8.3/1(金)~3/3(日)	車山高原	車 スカイパーク	宮下
指導員養成講習会 (第9回特別研究会)	H8.2/2(金)~2/4(日)	車山高原	車 スカイパーク	指導員会

普及部安全対策

行 事 名	期 日	会 場	本 部	担 当
パトロール受験者養成講習会	H7.12/22(金)~12/24(日)	車山高原	車 プレザントホテル	
安全対策講習会 (スキー傷害救急法)	H7.10/14(土)	神奈川公会堂		

SAJ教育本部行事 (関係行事抜粋)

行 事 名	期 日	会 場	本 部	担 当
指導員検定会(第1会場)	H8.2/26(月)~2/29(木)	北海道 朝里川		根本
〃 (第2会場)		東北 蔵 王		
〃 (第3会場)		甲信越 池の平		
〃 (第4会場)		東海北陸 朴ノ木平		
〃 (第5会場)		西日本 大 山		
A級公認検定員検定会	H8.2/26(月)~2/28(水)	上記会場		根本
スキー大学(第1会場)	H8.2/2(金)~2/5(月)	飛騨高山	乗鞍 青年の家	三塚
〃 (第2会場)	H8.2/15(木)~2/18(日)	田沢湖	駒ヶ岳 観光ホテル	
全日本スキー技術選手権大会	H8.3/5(火)~3/10(日)	北海道 ルスツ		根本

強 化 部

行 事 名	期 日	会 場	本 部	担 当
第 16 回 ミ ズ ノ 杯	H8.1/12(金)~1/14(日)	野辺山	黒岩荘	飯塚
第54回神奈川県選手権大会(ノルデック)	H8.1/1(月)~1/3(水)	池の平	池廻家旅館	工藤
南関東ノルデック競技会 第51回国体スキー競技会選考会 第18回神奈川県民体育大会	H8.1/20(土)~1/22(月)	〃		工藤
第13回カザマ・カップスーパー-G選手権大会	H8.1/20(土)~1/21(日)	上越国際	護城館	小野寺
第51回国体スキー競技会選考会 第18回神奈川県民体育大会	H8.1/21(日)~1/23(火)	〃	〃	小野寺
第1回神奈川県選手権大会(スノーボード)	H8.1/26(金)~1/28(日)	野辺山	黒岩荘	小山
第14回小賀坂杯スラローム大会	H8.3/8(金)~3/9(土)	上越国際	護城館	小野寺
第54回神奈川県選手権大会(アルペン)	H8.3/9(土)~3/10(日)	〃	〃	小野寺
第11回野辺山杯スラローム大会	H8.4/5(金)~4/7(日)	野辺山	黒岩荘	飯塚
SAK競技技術指導員クリニック (アルペン)	H7.12/28(木)~12/30(土)	野辺山	黒岩荘	山田
〃 (ノルデック)	H7.12/29(金)~12/31(日)	池の平	池廻家旅館	工藤
SAK競技運営指導員クリニック (アルペン)	H8.1/21(日)~1/23(火)	上越国際	護城館	小野寺
〃 (ノルデック)	H8.1/1(月)~1/3(水)	池の平	池廻家旅館	工藤
SAK公認セッタークリニック	H8.3/8(金)~3/10(日)	上越国際	護城館	小野寺
SAK公認 旗門審判員検定講習会	H8.3/8(金)~3/10(日)	〃	〃	小野寺
セッター検定講習会	H8.3/31(日)~4/1(月)	野辺山	黒岩荘	山田
ノルデック技術強化合宿兼新人講習会	H7.12/29(金)~H8.1/1(月)	池の平	池廻家旅館	工藤
八幡平強化合宿	H8.4/26(金)~5/4(土)	八幡平	大沼荘	工藤
ジュニアキャンプ1(J1)	H7.10~11月/(第2・4日曜)	ザウス		山田
ジュニアキャンプ2(J2)	H7.12/26(火)~12/30(土)	野辺山	黒岩荘	山田
ジュニアキャンプ3(J3)	H8.3/26(火)~3/30(土)	〃	〃	山田
ジュニアキャンプ4(J4)	H8.4/26(金)~5/4(土)	八幡平	大沼荘	工藤
53国体特別選手強化合宿 (ジュニア選手育成事業)	H8.1/13(土)~1/15(月)	野辺山	黒岩荘	山田
53国体特別選手強化合宿 (成年の部強化事業)	H8.2/2(金)~2/4(日)	野辺山 津 南	黒岩荘	山田
第51回国体強化合宿	H8.2/10(土)~2/12(月)	車津 津 南	黒岩荘	山田
第51回国体スキー競技会	H8.2/18(日)~2/23(金)	鈴 蘭		山田
第47回神奈川県総合体育大会	H8.2/23(金)~2/25(日)	野辺山	黒岩荘	小山

SAJ競技本部行事 (関係行事抜粋)

行 事 名	期 日	会 場	本 部	担 当
全日本スキー選手権大会(スピード系)	H8.2月下旬			
〃 (技術系)	H8.3/18(月)~3/20(水)	志 賀		
〃 (ノルデック)	H8.3月下旬	白 馬		
'96全日本マスターズ大会	H8.2/24(土)~2/26(月)	北海道 小 樽		
第11回関東スキー選手権	H8.3/27(水)~3/29(金)	尾瀬岩鞍		
第15回ジュニアオリンピックスキー競技会	H8.3月下旬	安 代		
全日本スノーボード選手権大会	H8.3月下旬	野辺山		

SAJ安全対策行事 (関係行事抜粋)

行 事 名	期 日	会 場	本 部	担 当
パトロール検定会(第1会場)	H8.3/11(月)~3/13(水)	北海道 ルスツ		
〃 (第2会場)		秋田 田沢湖		
〃 (第3会場)		石川 白峰高原		
パトロール研修会(第1会場)	H8.3/22(金)~3/24(日)	北海道 ルスツ		
〃 (第2会場)	H8.1/26(金)~1/28(日)	北海道 びっふ		
〃 (第3会場)	H8.3/15(金)~3/17(日)	宮城 オニコベ		
〃 (第4会場)	H8.3/29(金)~3/31(日)	長野 野沢温泉		
〃 (第5会場)	H8.3/4(月)~3/6(水)	鳥取 大 山		